

# 県重要文化財 木造兜跋毘沙門天立像

指定 昭和45年 小坂町 善根寺 収蔵庫

守り・伝える・文化財 ①6



小坂小学校近くの善根寺収蔵庫には、平安時代に創建され、中世の小坂郷に存在した善根寺にまつられていた仏像が収められています。本尊の薬師如来坐像、脇侍の日光・月光菩薩立像、多聞天立像をはじめとする四天王像など県重要文化財9軀、市重要文化財16軀は、いずれも平安時代に制作されたもので、かつての善根寺は多くの立派な仏像を擁した大寺であったことが想像されます。その中で今回は木造兜跋毘沙門天立像を紹介いたします。台まで一木造りの像高170cm。身に甲冑を着け、頭に筒状の宝冠をかぶり、右の手に宝棒、左の手に独鈷杵を持ち、子どものように見える地天女の両手に支えられて立つ姿は、豊かな肉の盛り上がりと相まって今にも駆け出しそうな気迫と躍動感にあふれています。失われた両腕や持物を江戸時代後期に制作のうえ修理してあります。兜跋毘沙門天立像は県内でも非

▲収蔵庫は奇数月の第3日曜日の午前中、一般公開しています

常に珍しいものです。仏法を守護する四天王のうち北方を守る多聞天は、単独で崇拜の対象としたとき、七福神でもおなじみの毘沙門天と呼ばれ、足元に天邪鬼を踏まえています。兜跋毘沙門天は地天女の両手の上に立つのが特徴です。兜跋毘沙門天の由来は、中国の唐の時代、西域の兜跋国と呼ばれた地帯におかれた辺境警備の出城、安西都護府がまさに落城寸前のとき、巨大な毘沙門天が楼門の上に現れ、敵を一撃で退散させたとの伝承によるといわれます。



善根寺保存会会長 田坂允徳さん  
問い合わせ先 善根寺保存会(田坂会長)  
(☎0848661406)

善根寺保存会の田坂允徳会長は、慈悲に満ちた仏像の眼差しに囲まれながら「多くの仏たちが千年という永い年月と大きな時代の変化の中を大切に守り伝えられてきたことは大きな驚きです。平安と幸福を願う人々のあつい信仰の表れですね。県外からの見学者も増えました。小坂に受け継がれた宝物を三原市の財産として、これからも伝えていきたいですね」と語ってくれました。(文/生涯学習課非常勤学芸員 小池桃加)

## だるま制作体験教室

①だるま制作体験教室(初心者向け4日間コース)  
とき 9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水) 10時〜12時

②だるま面相書教室  
とき 12日(土) 10時〜12時  
ところ いずれも三原だるま工房(港町一丁目)

定員 各8人(申し込み先着順)  
参加費 各500円  
申し込み先 三原観光協会  
(☎0848661481)

## 技能者表彰候補者の募集

製造業、建設業などの分野において、卓越した技能を持ち、後進の育成、産業発展に貢献している人を推薦してください。

申し込み 31日(木)までに商工振興課(☎084866072)へ

## 税の納期(普通徴収)

- ◎国民健康保険税(第1期)
- ◎介護保険料(第1期)
- ◎後期高齢者医療保険料(第1期)
- ※納税通知書は今月中旬に発送します。
- ◎固定資産・都市計画税(第2期)納期限 7月31日(木)
- ※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

## あ・と・が・き

7日は七夕。年に一度だけ織姫と彦星が天の川を渡って会える日です。先月中旬に梅雨入りした広島県地方。二人が雲にじゃまされずに会えるといえますね。七夕の夜には環境省の呼びかけにより「CO<sub>2</sub>削減七夕ライトダウンキャンペーン」が全国的に行われ、三原市でも本庁や支所などで実施する予定です。地球温暖化防止の取り組みのひとつとして、夜8時から10時まで一斉に消灯して、地球にやさしい環境を見つめ直そうというものです。毎日の生活でいかに電気や照明の恩恵を受けているか、改めて気づかされるのでは。あかりを消して、星や月明かりのもと過ごす静かなひととき。普段とは違う時間の中で、新しくかつ意外な発見があるかもしれません。梅雨明けにはまだ早いこの季節。雨ならライトダウンとともに雨の音を聴きながら、晴れなら織姫星と彦星とその間を流れる天の川を眺めてみてはいかがでしょうか。(ま)



● 三原市の人口 ●	
(5月31日現在)	
世帯数	43,937世帯 (+258)
人口	104,452人 (-560)
男	50,152人 (-253)
女	54,300人 (-307)
( )内は前年同月との比較	

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行/三原市秘書広報課 (〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号 ☎084866007) 毎月1日発行  
「広報みはら」は市役所1階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきろロビーの窓口に備えています。点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。

